

# 食といのちの自給圏を創り出す

---



山形県・百姓 菅野芳秀

# いま農村で何が起こっているのか？

---

- 農民が消える
- 農村文化が消える
- 村そのものが消えようとしている

# 重なる『終い』

---

■墓終い

■農終い

■村終い

# 国づくりで優先すべきものは？

---

■ 経済か

■ 人々の暮らしか

# 誰もが幸せになれない国・日本

---

- 非正規労働の拡大
- 借金奴隷を生む構造
- 農業も例外ではない

# 日本農業を支えてきたのは誰か

---

■自作農

■家族農

# 離農が止まらない理由

---

- 農産物価格の低迷
- 『時給10円』の現実
- 政治への不信

# 農のプロが去る損失

---

- 技術の喪失
- 知恵の断絶
- 未来への影響

# 瑞穂の国の危機

---

- 平均年齢71歳
- 団塊世代がピーク
- タスキ渡しの断絶

# 大規模化は解決策か？

---

- 中山間地が4割
- 小農が下支え

# 有機農業も例外ではない

---

- 有機の里でも離農
- 環境と食の危機

# なぜ令和の百姓一揆か

---

- 危機を知らない社会
- 政治への警鐘

# 令和の百姓一揆とは

---

- 国民への直接訴え
- 農と食の危機の可視化

# 百姓一揆の4つの要求

---

■所得補償

■食の補償

■自給率向上

■減反停止

# 広がる共感と連帯

---

- 全国26都道府県
- 都市と農村の連携

# 百姓一揆が残したもの

---

- 農と食の連携
- 政党の変化
- 運動拠点

# 次の行動へ

---

■ 2026年3月29日

■ 第二弾へ

# 難局には対案を

---

- 批判だけでは足りない
- 対案と参加

# 国づくりの転換

---

■産業政策だけでなく

■地域政策へ

# 地域社会農業という発想

---

■ 国民皆農

■ 多様な農の形

# 時代は転換点

---

■理想を語る

■理想を創る

# 対案を支える価値観

---

- 循環と生命
- 自立と自給
- 参加民主主義

# 実践① レインボープラン

---

## ■地域循環の再構築

# 実践② 置賜自給圏

---

- 食・エネルギー・学び
- 社会は変えられる

# 置賜自給圏が示す希望

---

- 小農と家族農
- 全国へつながる